



◆コロナ関係

新規感染は日を追うごとに減ってきて、4万人を割りました。何度か裏切られただけに、このまま収束するかどうかは半信半疑といったところです。

当院に入院される方をみても重症者少なく、医療以上に介護に手を取られるようになってきています。

◆病院・慈恵会グループからのお知らせ

・新須磨病院

9月27日火曜の2022年度神戸市保健所立入検査は、特に指摘事項なく、無事終了しました。

・松江総合医療専門学校

9月29日木曜 看護学科1年生の宣誓式



9月30日金曜 第7回識者懇話会

松江市長をはじめ、松江市議会議長、松江商工会議所会頭、NHK松江放送局長、山陰中央新報社長、高校の校長先生方、学校評価委員、産官学の識者の方々にお集まりいただき、本校の現況をご説明いたしました。皆様方からは大変励みになるあたたかい期待を含めたご提言、ご意見をいただき、大変有意義な会となりました。



◆今週の院長予定

10月3日	月	8:00運営会議、15:00神戸校50周年記念誌取材、撮影、17:30医局会			
10月4日	火	9:00外来、14:00手術			
10月5日	水	松江			
10月6日	木	9:00~11:00来客			
10月7日	金	9:00外来、14:00神戸市医師会、20:00須磨区医師会			
10月8日	土	9:45新須磨クリニック健診業務、14:00介護の家往診、15:00面接			

◆私の本棚

イベルメクチン

大村 智 編著 河出新書

大村先生はイベルメクチン開発でノーベル医学賞を受賞した先生。新型コロナワクチンに著効する治療薬は未だできていない現状で、イベルメクチンはパンデミック当初から有効性は指摘されていた。しかし、元々が寄生虫の薬で、風土病であるオンコセルカや、疥癬そして、犬のフィリアの薬であると軽んじられた節がある。1錠1ドルの薬が効くとなると、ワクチン開発に莫大な投資をした製薬会社の立つ瀬もなくなる。何にでも大規模治験でのエビデンスを求め、実際の医療現場で得られるエビデンスを無視するWHOにも問題がある。ワクチンが入手できない貧国ではイベルメクチンで感染者が劇的に減っている事実もある。



慈恵会グループの紹介③

有料老人ホーム エリーネス須磨

1988年に開設しました。エリーネスという名前の由来は英単語のsenile(老人の)です。これを反対から並べelines(エリーネス)とし、年をとらずいつまでも若々しいという意味を持たせました。開設当初は運営ノウハウに乏しかったために苦労しました。

1995年の阪神・淡路大震災をきっかけに、色々と社会情勢が変わるとともに需要が高まり、その後増築、現在は115室で運営しています。

エリーネスの「売り」は何といっても「新須磨病院」の医療サポートです。また天然泉が湧出しており、これを利用した温泉施設も評判のひとつです。

最近、競合ホームが増えて、入居者の確保にやや苦戦しています。知り合いで老人ホームを探がしておられる方を是非紹介してください。



誰にでもできることを
誰にでもできないくらい
続けていると
奇跡の扉がひらく